

# 經濟論叢

第七十三卷 第四號

---

資本主義の基本矛盾の展開と

資本の蓄積……………吉村達次 (1)

比較靜學と眞正動學……………今川正 (21)

日本鐵鋼業の成立と原料問題……………難波平太郎 (38)  
小野一一郎

公有林野統一整理に關する一考察……………關順也 (52)  
鶴嶋雪嶺

---

[昭和二十九年四月]

京都大學經濟學會

京都大學經濟學會規則

第一條 本會を京都大學經濟學會と稱する  
 第二條 本會は左の會員を以て組織する  
 (イ)正會員 京都大學經濟學部教授、助教、講師  
 (ロ)助手及同學部出身者  
 (ハ)學生會員 京都大學經濟學部學生  
 (ニ)贊助會員 本會の事業を贊助する者  
 (ホ)名譽會員 京都大學法學部教授、助教、講師

第三條 前條の外所定の會費を納めて「經濟論叢」の頒布を受ける個人及團體は購讀會員とす  
 第四條 特別の場合に限り前二條に定められた會員以外の者にも會員に準ずる取扱いをすることができ

第五條 本會の事務所は京都大學經濟學部内に置く  
 第六條 本會は左の事業を行う  
 一、機關雜誌「經濟論叢」を發行すること  
 二、別號を發行することがある  
 三、一「經濟學研究叢書」を發行すること  
 四、毎月一回學術研究會を開催すること  
 五、毎月一回公開講演會を開催すること

第七條 (略)  
 第八條 (略)  
 第九條 會員には雜誌を配布する、但し臨時特別號は此限りではない

第十條 會員は左の會費を納めなければならない  
 (イ)正會員 八百圓  
 (ロ)助手會員 七百圓  
 (ハ)學生會員 七百圓  
 (ニ)贊助會員 壹萬圓以上  
 購讀會員 年額 八百圓

第十一條 本會規則の改正變更及財産の處分は評議員會の決議による  
 昭和二十七年十二月

京都大學經濟學會

既刊目次

第七十三卷第一號 昭二九・一・一發行  
 定價 六〇圓

資本蓄積と外國貿易……………松井 清  
 ドイツ帝國主義と經濟政策……………大野英二  
 信用貨幣とインフレーション……………眞藤素一

日本鐵鋼業の問題點……………菅谷重平

第七十三卷第二號 二月一日發行  
 定價 六〇圓

地方稅改革案における若干問題……………神戸正雄  
 會計學と經濟學との交渉……………鎌倉 昇  
 政黨連合運動の基盤……………市原亮平  
 鐵道業における獨占形成と投資金融……………越後和典  
 會我部靜雄著

「均田法とその稅役制度」……………堀江保藏

第七十三卷第三號 三月一日發行  
 定價 六〇圓

山村部落財政の實態……………島 恭彦  
 政黨連合運動の破産……………市原亮平  
 ケンイズの所得の定義……………三上正之  
 賃銀水準と雇傭の變動……………清水義夫

る矛盾の對立面の外在化として顯現する。無制限な利潤追求慾による生産力の増進は生産過程内の基本矛盾を激化せしめざるを得ないのであるが、それは、無政府性の矛盾を、個々の資本の無制限的生產擴大が社會的資本との間に生ぜしめる不均衡という對立において、勞資の對立を、益々制限される大衆の狹隘な消費と資本の生産擴大の對立において、一般的には生産過程と流通過程の對立において顯現せしめるのである。

こうして生産過程は流通過程えの現象、それとの對立を通じて、自らの中にふくんでいる基本的矛盾及び派生的な二つの矛盾を外在化せしめ、かくて過剰生産恐慌えの實在的可能性を確立するのである。このように生産と消費の對立及び不均衡として外在化することによつて始めて基本矛盾は自らを充全な恐慌の原因として措定するのである。

【註】社會的總資本の再生産過程における基本矛盾の展開については次稿に詳論する豫定である。

### 本號執筆者紹介

吉村達次	京都大學助教授
今川正	香川大學助手
小野一	京都大學講師
難波平太郎	富士銀行勤務 (京大・經・昭三・三 卒業)
關順也	山口大學助手
鶴嶋雪嶺	京都大學大学院研究生

佐波宣平	補増	交	通	概	論	Λ5三二六頁 定價三三〇圓					
佐波宣平		海	運	理	論	體系	Λ5三二四頁 定價三二〇圓				
佐波宣平		保	險	學	講	案	Λ5三二〇頁 定價三八〇圓				
岸本誠二郎		勞	働	價	値	論	の研究	Λ5三七〇頁 定價四二〇圓			
靜田均		工	業	經	濟	概	論	Λ5二七〇頁 定價三五〇圓			
堀江保藏		日	本	資	本	主	義	の	成	立	Λ5三〇六頁 定價二八〇圓
松井清		日	本	貿	易	論					Λ5二七〇頁 定價二八〇圓
松井清		世	界	經	濟	學	批	判			Λ5三二四頁 定價二九〇圓
島恭彦		現	代	地	方	財	政	論			Λ5二二六頁 定價二六〇圓
島恭彦		近	世	租	稅	思	想	史			Λ5四〇四頁 定價二四〇圓

東 京 有 斐 閣 京 都

會 員 各 位 へ  
 經濟論叢書一昨年七月より月々刊行致し  
 ておりますが、この機会に會費を御納入  
 下さいますようお願い致します。

一、會費納入先

京都市左京區吉田本町

京都大學經濟學部内

京都大學經濟學會

振替口座大阪五〇五三九九番

一、會費 年額 八〇〇圓(前納)

一、金員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業  
 年次、就職先を學會まで御通知下さい。

一、會員外の雜誌購入は有斐閣へお申込下さい。

昭和二十九年三月二十五日 印刷  
 昭和二十九年四月一日 發行  
 定價 六〇圓

編集兼 發行人 前 田 昇 三

印刷所 京都市下京區七條御所ノ内東町三九番地  
 中村印刷株式會社

發行所 京都市左京區吉田本町  
 京都大學經濟學會

發賣所 振替口座大阪五〇五三九九番  
 株式會社 有斐閣

本 社 東京都千代田區神田  
 神保町二丁目十七番地

京都支店 京都市左京區北白川  
 農學部電 傍

# Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

---

---

Vol. 73, No. 4

April, 1954

---

---

- Capital Accumulation and Underlying  
Contradiction in Capitalist Society  
—A Critique of Prof. Uno's Crisis Theory (II)—...*T. Yoshimura*
- Comparative Statics and True Dynamics.....*T. Imagawa*
- The Formation of Japan's Iron-Steel Industry  
and its Material Problem.....*K. Ono*  
*H. Namba*
- Re-adjustment of Public-owned Forests  
—The case of a village in Kyoto Prefecture.....*J. Seki*  
*S. Tsurushima*
- 

Published

by

**KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI**  
(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)